



中村ツワさん



成田繁太郎さん

中村ツワさん成田繁太郎さん100歳おめでとう

大正3年9月18日生まれの中村ツワさん（車力町）と9月23日生まれの成田繁太郎さん（木造有楽町）が満100歳を迎えた。市から顕彰状と記念品が贈られました。

中村さんは子ども7人、孫15人、ひ孫18人に恵まれました。現在ではデイサービス（日帰り介護）を利用しながら自宅に暮らし、毎日食事の支度をこなしているそうです。

尾野病院に入院している成田さんは子ども2人、孫5人、ひ孫8人。長年お菓子職人としてさまざまなお菓子を作り、町内外の方々を喜ばせていたそうです。同居するご家族は「気ままに自分の思い通りに生活することが長寿の秘訣では」と話していました。

県産業用無人ヘリ競技最優秀賞で全国大会へ

9月10日、弘前市で行われた青森県産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会で越水無人ヘリ防除組合（工藤謙組合長）の吉田源貴さん・長谷川大喜さん組が最優秀賞に輝きました。同大会には県内各地から25チームが出場。2人一組で1人が操縦者、1人が合図を送る役割を担い、飛行の安定度や散布液噴出の効率性などを競いました。優秀な成績を収めた2人は茨城県で開催される全国大会へ出場します。

10月16日、福島市長に報告に訪れ、吉田さんは「全国大会でもいい結果を出して、日頃の防除の成果を見せたい」、長谷川さんは「初めての全国出場ですが、自分を出せるように一生懸命頑張ります」と意気込みを語りました。



最優秀賞に輝いた吉田さん(左)、長谷川さん(右)



基調講演する岩倉氏

公民館のあり方を考える 公民館研究フォーラム開催

9月25日、松の館で「第55回青森県公民館研究フォーラム」が開催され、関係者ら約200人が参加しました。

フォーラムでは、歯学博士で尚絅学院大学附属幼稚園・園長の岩倉政城氏が基調講演。歯科医師としての体験と公民館活動との共通点などについて、ユーモアを交えながら講義しました。また、岩倉氏をコーディネーターとしたパネルディスカッションも行われ、西北地区の地域づくり団体代表者が「広げよう、地域での学びあい」のテーマで議論を交わしました。岩倉氏は「公民館には地域の情報や人脈をつなぐ大事な役割があり、公民館の存在で地域づくり団体の活動が豊かなものになる」と話していました。

シルバー人材センターが清掃奉仕

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の一環として、市シルバー人材センター（山内清美理事長）の会員ら約50人が10月15日、市役所周辺の幹線道路約900mの清掃奉仕活動を行いました。

この日は、歩道の除草や道路脇の側溝にたまつた土砂や落ち葉などの除去を行い、会員らは爽やかな汗を流していました。きれいになった道路を見て参加者は「地域に貢献できてうれしい。住みよい街づくりを続けていきたい」と話していました。センターの事務局によると、拾い集められた落ち葉は黒土と混ぜ合わせて発酵させ、堆肥として市内の花壇へ活用するそうです。



道路脇を清掃するシルバー人材センターの会員

地域一丸で交通事故防止を 秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）に伴い、9月19日、つがる市交通安全のつどいがイオンモールつがる柏で行われました。

つどいには、市民や関係者ら約200人が参加し、つがる地区交通安全協会の桜庭修会長が「日没が早まるこれからの時期は交通事故が多発傾向にあります。関係機関が連携し交通安全対策に取り組みます」と福島市長にメッセージを伝達しました。また、もりた保育園子ども交通指導隊、柴田子ども交通指導隊、館岡子ども交通指導隊が「皆さん交通ルールを守りましょう」と元気よく交通安全誓いのことばを述べました。



元気よく誓いのことばを述べる館岡子ども交通指導隊



じゃんけんゲームを楽しむ園児

こども赤十字活動を広げよう しげた保育園が活動発表

日赤青森県支部よりこども赤十字活動推進園に委嘱された、しげた保育園（工藤敦子園長）の活動発表会が10月10日、稻垣公民館などで行われました。初めに園児33人が、人形を担架に乗せて2人一組で走る赤十字リレーやじゃんけんゲームなどの活動発表を披露。続いて工藤園長が平成24年度から3カ年にわたって取り組んだ「思いやり」や「たくましさ」を育むためのさまざまな実践活動を参加者約80人に報告しました。工藤園長は「チェスボロー号座礁での人命救助を題材にした絵本を読み聞かせした時に、ある園児が『赤十字活動みたいだね』と言ったことが一番心に残っている」と話し、取り組みの成果を喜んでいました。

昔ながらの稲刈り体験

9月19日、富菴小学校（長内一校長）の5年生21人が、自分たちの植えた稲の刈り取りを体験しました。児童らは5月に車力町の佐々木佐吉さんの水田に「まっしぐら」の苗を植え、稲の成長を観察してきました。この日、佐々木さんから注意点などの説明を受けた児童は、鎌を使った昔ながらの収穫に挑戦。一束ずつ丁寧に刈り取った稲を束ね、直立させた棒に掛けて天日干しさせました。松橋正弥君は「刈り取りは上手にできたけど、稲を束ねるのが難しかった。家の田んぼもお手伝いもしたくなった」と話していました。今後は自然乾燥させた稲を脱穀、精米し、学校行事において全員で味わいます。



刈り取った稲を運ぶ富菴小児童



優しくフナの稚魚を放流する園児

平滝沼にフナの稚魚を放流

9月19日、かしわ保育園（佐藤修子園長）とかしわあつぱる保育園（山崎笑子園長）の年長児46人が平滝沼にフナの稚魚を放流しました。

水辺に一列に並んだ園児は、バケツに入ったフナの稚魚を「大きくなってね」と声を掛けながらゆっくり放流。元気に泳いでいく魚の様子を見守りました。木村太陽くんは「お魚が好きなので楽しかった。またやりたい」と話していました。

これは、子どもたちに水生動物に親しみながら生態系保全の大切さを学んでもらおうと西津軽新田漁業協同組合（伊藤良二代表理事組合長）が実施しているもので、この日は4000尾の稚魚が放されました。

防災行政用無線放送による全国一斉緊急情報の伝達訓練を実施します

市では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、国から送られてくる緊急情報を人工衛星などから瞬時に市民の方へ情報伝達する仕組み（全国瞬時警報システム（Jアラート））を用いて、防災行政用無線による情報伝達訓練を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

訓練実施日時 11月28日（金）午前11時00分頃

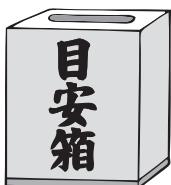
情報伝達手段 防災行政用無線（市内に設置している防災行政用無線子局および室内に設置している受信機）から一斉に放送されます。

放送内容（予定） 「上りチャイム音」→「これは、テストです。」を3回放送
→「こちらは、防災つがる市です。」→「下りチャイム音」

【問い合わせ先】 総務課 電話42-2111（内線345）



市民の皆さまから寄せられたご意見



市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各出張所に目安箱を設置しており、またホームページでもご意見を受け付けています。今回は平成26年5月から9月に寄せられたご意見のうち、主なものをお知らせします。

主な意見	回答（担当課）
<p>納税貯蓄組合の個人情報について 納税貯蓄組合の組合長に、なぜ各家の税金を印刷した一覧表を渡すのですか。特に国民健康保険税は、各家のおおよその所得まで分かってしまうので、個人情報漏れではないですか。</p>	<p>納税貯蓄組合は、市税を納期内に計画的に納めることを目的として、地域や職場の方などが協力して組織する任意の団体です。納期毎の納付額を把握し、納期内納付に支障をきたすことのないよう、組合長には一覧表をお渡しているところです。この一覧表で知り得た個人情報には守秘義務がありますので、業務を遂行していく上で、あらためて個人情報保護の観点からさらなる指導を徹底してまいります。また、納税貯蓄組合を組織するにあたっては、組合員相互の信用と信頼のもとにあることが大前提です。今後とも納税貯蓄組合の円滑な運営を進めるためにも、ご理解とご協力をお願いします。 (収納課)</p>

以前に掲載した同様のご意見については掲載しておりませんのでご了承ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 電話42-2111（内線557）

人権擁護活動に法務大臣から感謝状

平成26年9月まで7期21年にわたって人権擁護委員を務められた鳳至満さん（柏）へ法務大臣から感謝状が贈られました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんのがん人権について関心をもってもらえるような啓発活動をしています。

10月7日に市役所において贈呈式が行われ、福島市長立ち合いのもと、青森地方法務局五所川原支局の山崎明支局長が感謝状を手渡し、長年の功績をたたえました。鳳至さんは「相談者と一緒に悩みながら少しずつ前に進んできました」と話していました。

また、10月1日付けで成田美津子さん（新任）、吉田恵美子さん（再任）が人権擁護委員として法務大臣より委嘱されました。※人権相談は20ページに掲載しています。



感謝状を手にする鳳至さん（中）



成田美津子さん



吉田恵美子さん

【問い合わせ先】 市民課 電話42-2111（内線265） 12月4日から10日までは「第66回人権週間」です。

平成26年度つがる市職員採用試験

1. 職種・受験資格・試験

職種	受験資格	試験の日時・場所
社会福祉士 (2名程度)	昭和55年4月2日以降に生まれ、大学卒業以上の学歴を有する者で、社会福祉士の資格を有する者	第1次試験 日時 平成27年1月11日(日)午前9時 場所 生涯学習交流センター「松の館」
上級土木 (2名程度)	昭和55年4月2日以降に生まれ、大学卒業以上の学歴を有する者（平成27年3月までに卒業する見込者を含む。）で、土木工学科またはこれに類する課程を卒業した者または卒業する見込者	第2次試験 日時 平成27年1月25日(日)（予定） 場所 市役所 3階会議室

※身体に障がいがある者でも、要件を満たせば受験できます。詳細についてはお問い合わせください。

※活字印刷文による出題および口頭による面接に対応できる者に限ります。

2. 受験手続

受験申込書の請求方法 (右のいずれか)	・市役所総務部総務課、稻垣出張所、車力出張所、つがる出張所（土・日・祝日も午前10時～午後7時の間）で配付します。 ・郵送で請求する場合は、返信先を明記した返信用封筒（120円切手を貼ったA4版サイズのもの）を同封し、郵送用封筒の表に「〇〇（試験職種）受験申込書請求」と朱書きの上、市役所総務部総務課へ請求してください。郵送による請求は、12月8日(月)必着分まで受け付けます。 ・インターネットで請求する場合は、市ホームページからダウンロードしてください。
申込方法	受験申込書と受験票に必要事項を記入し、市役所総務部総務課へ提出してください。 詳細については受験申込書に添付されている募集要項をご覧ください。

3. 受付期間 11月17日(月)～12月16日(火) 午前8時30分～午後5時15分

※土・日・祝日を除く。郵送の場合は12月16日(火)必着

【申し込み・問い合わせ先】 〒038-3192 青森県つがる市木造若緑61番地1

つがる市役所 総務部総務課 電話0173-42-2111（内線348）

ホームページ <http://www.city.tsugaru.aomori.jp/>

「期限付き臨時職員」を募集します

事務内容	一般事務
勤務場所	つがる市選挙管理委員会（市役所3階）
勤務日	月曜日～金曜日（原則）※土・日勤務もあり
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分 ※時間外勤務日もあり
休憩時間	正午～午後1時
雇用期間	平成26年12月8日(月)～平成27年2月6日(金)
賃金	時給 700円
採用予定者	3人程度
応募要件	パソコンによるエクセル・ワードの事務ができること

応募方法 履歴書（市販の用紙を使用・写真添付）を選挙管理委員会へ提出
受付期間 11月17日(月)～11月27日(木)
※郵送は11月27日(木)必着
採用方法 面接等により決定
面接日：12月1日(月)午後2時
つがる市役所

【提出・問い合わせ先】 〒038-3192 つがる市木造若緑61-1 つがる市選挙管理委員会 電話42-2540

（仮称）車力地区統合小学校建設予定地について

つがる市教育委員会では「つがる市小中学校規模適正化実施計画（平成25年1月策定）」に基づき、車力地区における牛潟小学校、車力小学校および富菴小学校の新設統合校を平成29年4月に開校予定としております。このたび、新設統合校の建設場所が右図のように車力中学校に隣接することで確定しましたので、お知らせします。

【問い合わせ先】

つがる市教育委員会 教育総務課 電話49-1201

